

平成31年度 地域の宝磨き上げ事業（案）

2019.3.18 地域委員会資料

No.	宝	新継	施行事業 (実施団体)	事業内容	事業効果	事業予算
1		【継続】	楽山苑活用事業 (与板観光協会)	地元の方から親しまれている楽山苑を活用したフォトコンテストを実施することにより、これまで以上に楽山苑の魅力と素晴らしさを地域内外へ発信する。 ○楽山苑を利用したフォトコンテストの開催	楽山苑を会場とした企画により、楽山苑の魅力を再発見してもらい、次世代を担う子供たちへ地域の宝を引き継ぐきっかけを提供する。また、楽山苑を活用することで与板の魅力を発信し、交流人口の増加や地域振興と観光振興につながる。	()内は 30年度予算額 250,000 (250,000)
2	楽山苑・豪商の文化	【継続】	ボランティアガイド養成事業 (与板町歴史ボランティアガイド会)	ガイド会の構成メンバーが高齢化しているため、後継者の育成を視野に入れた与板検定（シニア版）を開催し、与板地域の歴史等に関心持つ市民を発掘するもの。 ○よいた検定・ガイド養成講座	将来に向け絶やすことなく与板を紹介していくことで、より多くの方へ発信ができ与板ファンの増が期待できる。	150,000 (150,000)
3		【継続】	豪商の文化「聞香」体験事業 (優香の会)	地域内外の住民参加により、豪商の文化である「聞香」を体験することにより、与板ならではの歴史・文化に関心を持ってもらい、与板の魅力を地域内外に発信する。 ○「聞香」体験会、香筵会の開催	地域の宝である「楽山苑」を使用し、与板ならではの豪商の文化「聞香」を地域内外に広く発信することで地域への誇りと愛着を持ってもらうきっかけづくりにつながる。	400,000 (400,000)
4		【継続】	与板再発見・歴史文化の掘り起こし事業 (実行委員会)	地域内外の住民参加により、まち歩きを開催し、与板の歴史・文化に関心を持ってもらうきっかけづくりとする。 ○まち歩き ○まちめぐりマップ印刷	実際に城下町を歩き、与板の歴史に触れ、感もらい、歴史・文化に親しみや理解を深めてもらうきっかけとする。地域の歴史の学習や啓発の場を継続することで、城下町与板の歴史を風化させず、次世代に継承でき、訪客数の増加や地域の誇りと愛着の醸成につながる。	1,057,000 (1,800,000)
5	城下町与板の街なみ	【新規】	与板を知ろう・長岡を知ろう事業 (チームわたしのよいた) (実行委員会)	与板の歴史に関する講演会等を行い、与板地域や長岡の歴史・文化への関心の掘り起こし、郷土への愛着や誇りを醸成する。 ○講演会	「歴史の薫る街・与板」について、歴史を切り口とした講演会等を通じて、新たな魅力を発見したり、与板のよさを再発見することができる。また、歴史に触れる機会を継続して提供することで、故郷への愛着と誇りを醸成する。	550,000
6		【新規】	城下町与板タウン情報誌作成事業（仮） (実行委員会)	タウン情報誌を通じた集いの場を提供し、城下町与板の魅力を探る。タウン情報誌を発行、情報発信し、与板地域に関心をもってもらうきっかけとし、地域外から人を呼び込み、交流人口の拡大を図る。 ○編集会議 ○タウン情報誌発行	与板地域の情報を発信することで、地域の良さを認識し、誇りと愛着を持つことができる。また、地域外からの来訪者が増えることにより、交流人口の拡大や地域の活性化につながる。	300,000
			合計			2,707,000 (2,850,000)

※事業予算は予算要求額を計上